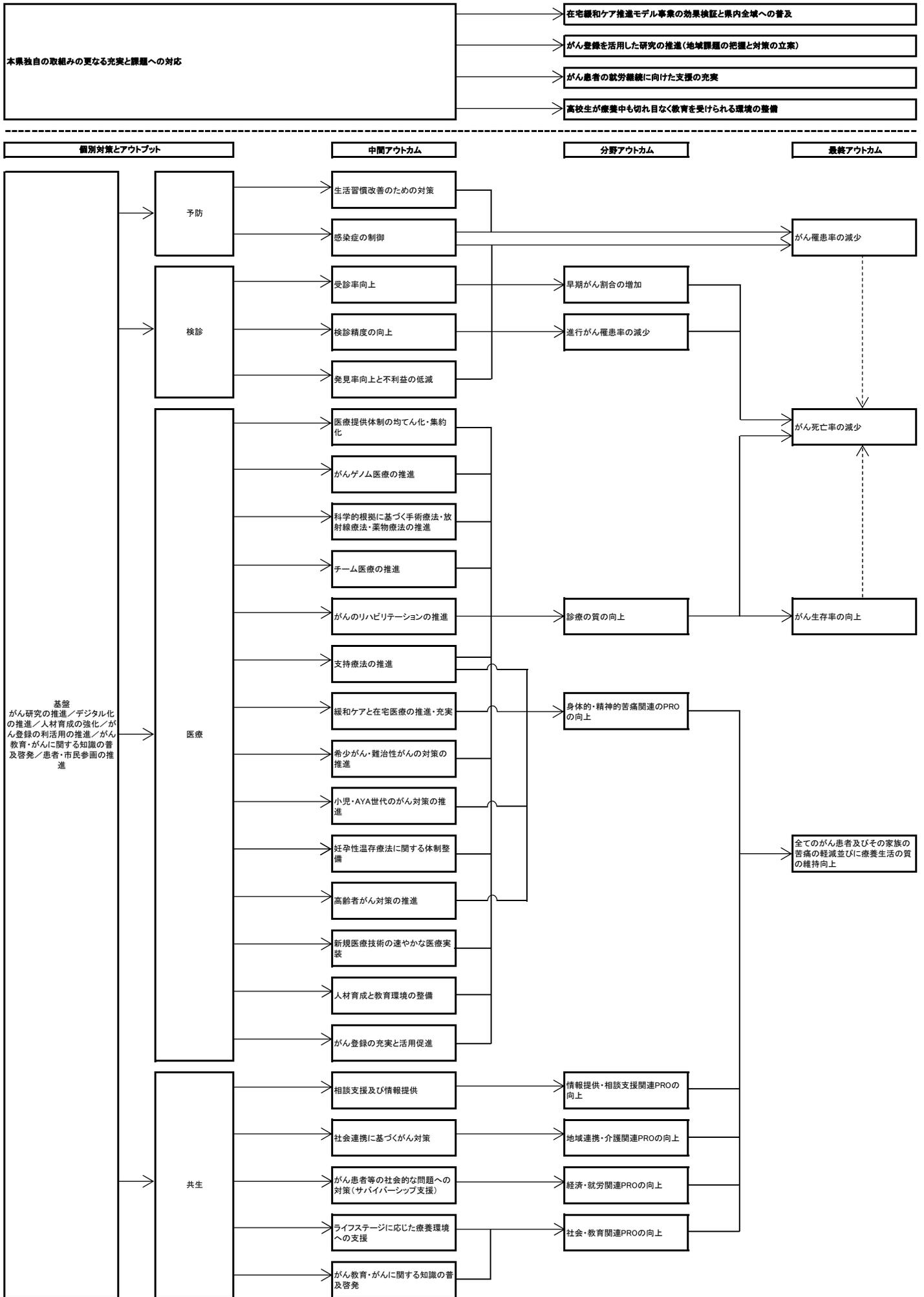


[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]:基本ロジックモデル



[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: がんの1次予防

科学的根拠に基づいた正しいがん予防知識の普及啓発

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
県、市町、医療機関、検診機関、学校、事業所、患者団体を含む関係団体の他、地域社会において健康づくりに取り組んでいる食生活改善推進員、がん対策推進員、保健推進員などボランティアの協力も得て、県民へのがんの予防に関する科学的根拠に基づいた正しい知識の普及啓発に取り組む。	がん対策推進員の認定者数	県-03
	がん対策推進員と連携して普及啓発に取り組んだ市町の数	県-03
県は、市町、検診機関、拠点病院等の関係機関と連携し、働き盛りの世代に対するがん予防対策を推進するため、事業所、関係団体等に働きかけ、ピンクリボンえひめ協議会の加盟企業等や愛媛県がん検診受診率向上プロジェクト参画企業等とも協力し、職域におけるがん予防知識の普及啓発に取り組む。	ピンクリボンえひめ協議会によるイベント参加数	他-01
	がん検診受診率向上プロジェクト参画企業による活動回数	県-03
県は、市町、事業所、がん対策推進員等が、地域及び職域において、積極的に普及啓発に取り組めるよう、科学的知見に基づいた正しい情報の提供を行う。	県が実施する市町、事業所、がん対策推進員等を対象とした研修会の開催回数	県-03
拠点病院等は地域へのがんの予防に関する普及啓発を実施するとともに、必要に応じてがん相談支援センターが窓口となり、病院全体でがんの予防に関する情報を提供できる体制を整備する。	拠点病院・推進病院で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数(総数)	現-01 現-02

分野別アウトカム	指標	データソース
がん種別罹患率減少(胃・大腸・肺・女性乳房・喫煙関連がん)	がん種別年齢調整罹患率(胃・大腸・肺・女性乳房・喫煙関連がん)	登-01

最終アウトカム	指標	データソース
がんの年齢調整罹患率減少	がんの年齢調整罹患率(全年齢・人口10万人対)	県-03
がんの年齢調整死亡率減少	がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	国-02

たばこ対策・受動喫煙防止対策の推進

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
肺がんをはじめ種々のがんの原因である喫煙については、関係機関の連携の下、引き続き重点的に対策に取り組むこととし、喫煙の危険性に関する正しい情報や、喫煙の結果生ずる健康影響に関する知識の普及啓発を推進する。	保健所が実施する事業所や学生等を対象とした喫煙を始めとするがんの危険因子に関する情報提供やがんの予防に関するセミナーの開催回数	県-03
禁煙希望者に対しては、禁煙外来や相談窓口等を案内し利用を促すなど支援を行う。		
未成年者に対しては、小・中・高等学校など学校教育の場の他、地域、家庭においても喫煙の健康への影響に関する教育に取り組む喫煙防止に努める。		
妊娠中の女性に対しては、喫煙しないように、喫煙の危険性について啓発を行うとともに、家庭を含む受動喫煙のない環境づくりに取り組む。		
受動喫煙による害をなくすための環境づくりとして、県及び関係機関は、身近な家庭を含め、不特定多数が利用する施設や職場での原則禁煙又は分煙の徹底を推進する。		

中間アウトカム	指標	データソース
成人の喫煙率の低下	成人の喫煙率	県-01
受動喫煙の減少	家庭・職場で受動喫煙のある者の割合	県-01

食生活・運動等の生活習慣の改善

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
第3次県民健康づくり計画「えひめ健康づくり21」、「第4次愛媛県食育推進計画」、「第3次愛媛県歯科口腔保健推進計画」、及び各市町の健康づくりに関する計画等に基づき、県、市町、関係機関をはじめとして、地域社会において健康づくりに取り組んでいる食生活改善推進員、がん対策推進員などボランティアの参加・協力の下、栄養・食生活、運動等の生活習慣の改善に県民総ぐるみで取り組む。	県民健康づくり運動推進会議 参画団体数	県-03

中間アウトカム	指標	データソース
食生活の改善	バランスの取れた食事をして いる人の割合	県-01
運動習慣の定着	1日の歩行数	県-01
アルコール摂取量の減少	1日当たりの純アルコール 摂取量が男40g、 女20g以上の者の割合	県-01

発がんに関連する感染症予防対策の推進

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
県、市町及び関係機関は、ある種のウイルスや細菌の感染が発がんに大きく寄与する因子であることについて県民への啓発を進める。	がん対策推進員の認定者数	県-03
	県が実施する市町、事業所、がん対策推進員等を対象とした研修会の開催回数	県-03
	がん対策推進員と連携して普及啓発に取り組んだ市町の数	県-03
肝炎ウイルスについては、令和4年12月に策定した第3次愛媛県肝炎対策推進計画に基づき、県、市町、医療機関、検診機関等の関係機関、職域との連携を進めるほか、肝炎医療コーディネーターを養成し、肝炎に関する正しい知識の普及啓発に取り組むとともに、肝炎ウイルス検査の受診啓発、及び陽性者へのフォローアップ等を積極的に推進する。	肝炎医療コーディネーター数	県-03
B型肝炎については、予防接種法に基づく定期接種を引き続き推進する。	B型肝炎定期予防接種実施率	生-06
ヘリコバクター・ピロリ菌については、感染が胃がんのリスクであることは明らかではあるものの、除菌が胃がん発症予防に有効であるかどうかについては、まだ明らかでないため、今後の国の検討を踏まえ、県としての対応を検討する。		
HPVワクチンについて、県及び市町では、定期接種及びキャッチアップ接種の対象者に対して適切な情報を提供し、対象者がHPVワクチンの意義と安全性を正しく理解し安心して接種を受けることができる体制を整え、実施率の向上を図る。なお、国において、男性への定期接種化に向けた検討が進められていることを踏まえ、性別を問わないワクチン接種の啓発を検討していく。	HPVワクチン定期予防接種実施率	生-06
	HPVワクチンに関する副反応の相談件数	県-03
ATL(成人T細胞白血病)と関連するHTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)については、県・市町が連携のうえ、県民からの相談に対応するとともに、国とも連携を図り、母子保健対策を含む感染予防対策等に取り組む。	愛媛県HTLV-1母子感染対策協議会の開催回数	県-03

分野別アウトカム	指標	データソース
がん種別罹患率減少 (肝・ATL・子宮頸部)	がん種別年齢調整罹患率 (肝・ATL・子宮頸部)	登-01

[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: がんの2次予防(がん検診)

科学的根拠に基づくがん検診に関する正しい知識の普及啓発

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
県は、市町、検診機関をはじめとした関係機関と連携し、がん対策推進員等のボランティアの協力を得て、科学的根拠に基づくがん検診について、がん検診・精密検査の受診による早期発見の必要性のほか、対策型検診と任意型検診の違い、がん検診の利益と不利益(偽陽性・偽陰性等)等に関する知識についても普及啓発に取り組む。	がん対策推進員の認定者数	県-03
	がん対策推進員と連携して普及啓発に取り組んだ市町の数	県-03
	普及啓発キャンペーンの実施状況(資料の実質配布枚数、イベント参加者数)	生-04
	正しいがん検診の周知のため、住民に対し、がん検診の正しい情報提供を実施した市町数	生-05
県及び市町は、科学的根拠に基づくがん検診の普及啓発のため、関係機関の協力の下、がん対策推進員等に対し、科学的知見に基づく最新の情報提供を行うなど活動を支援する。	がん対策推進員養成研修会の開催回数	県-03

中間アウトカム	指標	データソース
検診受診率の向上	検診受診率	国-01

分野別アウトカム	指標	データソース
検診がん種の早期がん割合の増加	検診がん種早期がん割合	登-01
検診がん種の進行がん罹患率の減少	検診がん種別進行がん罹患率	登-01

最終アウトカム	指標	データソース
検診がん種の死亡率減少	がん種別年齢調整死亡率(75歳未満)	国-02
がん罹患率(子宮頸・大腸)*; 減少 ※	がん種別年齢調整罹患率	登-01

*:上皮内がん除く。
 ※がん検診により子宮頸部・大腸の前がん病変を早期発見して治療介入すれば、子宮頸がん・大腸がんの罹患数が減少する。

がん検診受診率の向上

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
県、市町、検診機関、医療機関等の関係機関が連携し、特定健診との同時実施、個別医療機関での受診、夜間・休日の受診体制、託児サービス、レディースデイの設定など、県民ががん検診を受けやすい利便性に配慮したサービスの充実に努めるとともに、これらの取組みについて、県民への周知を進める。	特定健診との同時実施、個別医療機関での受診、夜間・休日の受診体制、託児サービス、レディースデイの設定などに取り組む市町数	生-03
市町及び検診機関は、無料クーポンの活用など、がん検診受診者の経済的負担にも配慮しつつ、受診率の向上施策に取り組むこととする。	受診勧奨実施市町数	生-03
	乳がん検診、子宮頸がん検診のクーポン事業(国補助事業)又は市町独自の無料検診を実施する市町数	生-01
	がん検診の無料検診(5検診のうち1検診以上)を実施する市町数	生-01

職域におけるがん検診の実態把握及び対策の検討・実施

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
県は、働き盛りの年代に対するがん予防対策を推進するため、関係機関と連携し、事業所、関係団体等に働きかけ、ピンクリボンえひめ協議会加盟企業等及びがん検診受診率向上プロジェクト参画企業等の協力の下、職域における科学的根拠に基づくがん検診の普及啓発、及び受診率の向上に取り組む。	ピンクリボンえひめ協議会会員企業数	他-01
	ピンクリボンえひめ協議会によるイベント参加数	他-01
	ピンクリボンえひめ協議会において自社の従業員に受診勧奨をしている会員企業の割合	他-01
	がん検診受診率向上プロジェクト参画企業数	県-03
県は、関係機関と連携の下、職域におけるがん検診については、今後、国が必要に応じて、その法的な位置付けも含め、がん検診全体の制度設計について検討することとしていることから、その内容を踏まえ、職域や人間ドック等での受診を含めたがん検診全体の実態把握に努め、本県の実情に応じた必要な対策を検討する。		

県及び市町は、関係機関と連携の下、国の「受診率向上施策ハンドブック」の内容等も踏まえつつ、個人情報に配慮した上で、効率の良い受診勧奨に向けた取組みを検討する。

精密検査受診率の向上

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
県及び市町は、精密検査の意義について、正しい知識の普及啓発に取り組む。	受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布した市町数	生-02
県は、要精検者に対する事後指導を徹底するための研修会等を開催し、市町は、要精検者に対する事後指導を徹底することにより、精密検査受診率の向上を図る。また、精密検査実施医療機関は、精密検査結果報告書を、市町へ必ず返送し、市町が実施するがん検診の精度管理に協力する。	市町がん検診担当者研修会の実施回数	県-03
	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行った市町数	生-02
	生活習慣病予防講習会の開催回数	生-01
	精密検査実施医療機関登録数(延べ登録数)	生-01

中間アウトカム	指標	データソース
精密検査受診率の向上	精密検査受診率	生-01
がん発見率の向上	がん発見率	生-06
不利益の低減	偽陽性割合	生-06

がん検診の精度管理の更なる向上

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
愛媛県生活習慣病予防協議会は、最新の知見を踏まえ、市町及び検診機関において適切な精度管理の下で、科学的根拠に基づくがん検診及び精密検査が実施されるよう、専門的な見地から助言・指導する。	県生活習慣病予防協議会の開催数	生-01
	県生活習慣病予防協議会による検診機関実地指導の回数	生-01
	「事業評価のためのチェックリスト」を実施している市町の割合	生-02
県は、レセプトやがん登録情報を活用したがん検診の精度管理について、技術的支援等を行う。	県によるがん検診の精度管理の技術的支援を受けた市町の数	県-03

科学的根拠に基づくがん検診の実施

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
国は、関係機関と連携し、指針に基づくがん検診の科学的根拠に基づいた効果検証を進めるとともに、対策型検診の項目の導入に係るプロセスの明確化等について検討することとしており、その結果を踏まえ、県としての対応を検討する。	指針の遵守市町数	生-03
	指針に基づかないがん検診の中止市町数	生-03

歯科検診による口腔がんの早期発見等

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
口腔がんの大半は歯科医師により発見されていることから、県及び関係機関は、令和6年3月に策定した第3次愛媛県歯科口腔保健推進計画に基づき、歯科検診での早期発見等、口腔がんに関する知識の啓発に努めることで早期診断を推進する。	歯科医師に対する口腔がんに関する県主催研修会の開催数	県-03

[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: 医療提供体制の均てん化

がん診療連携拠点病院等の整備とがん医療の均てん化の推進

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
拠点病院のない宇摩圏域及び八幡浜・大洲圏域については、更なるがん医療提供体制の均てん化を進めるため、県及び愛媛県がん診療連携協議会等において、地域がん診療病院の設置について検討を進める。		
県は、各二次医療圏におけるがん医療提供体制の充実のため、拠点病院等が実施する、医療従事者の育成やがん登録、相談支援などの取組みに対し支援に努める。		
拠点病院及び推進病院において、医療及び相談支援等の更なる質の向上を図るため、PDCAサイクルの確立に取り組む。	県がん診療連携協議会PDCAサイクル部会の開催回数	連-01
拠点病院及び推進病院を中心に、医師による十分な説明と患者やその家族の理解の下、インフォームド・コンセントが行われる体制の更なる充実を図り、患者の治療法等を選択する権利や受療の意思を最大限に尊重するがん医療を目指すとともに、治療中でも、冊子や視覚教材などの分かりやすい教材を活用し、患者が自主的に治療内容などを確認できる環境を整備する。	初期治療内容に限らず、長期的視野に立った治療プロセス全体に関する十分なインフォームド・コンセントの取得に努めている拠点病院・推進病院の割合	現-01 現-02
拠点病院及び推進病院は、患者とその家族の意向に応じ、専門的な知識を有する第三者の立場にある医師に意見を求め、患者やその家族が治療方針を選択できるよう、セカンドオピニオン制度の充実にも努めるとともに、活用を促進するため普及啓発を推進する。	手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する機能を持つか、セカンドオピニオンの可能な他の医療機関を紹介するなど施設間連携によって対応できる体制を有している拠点病院・推進病院の割合	現-01 現-02
診療行為には一定の危険性が伴うことを踏まえ、拠点病院等の医療従事者が連携の下、患者等に対して安全な医療を提供するほか、抗がん剤の暴露対策など医療従事者等への安全対策にも取り組み、がん医療の安全の確保を一層推進する。	医療に係る安全管理の体制及び取組状況について、第三者による評価や拠点病院間での実地調査等を活用している拠点病院の割合	現-01
	県がん診療連携協議会集学的治療専門部会の開催回数	連-01
拠点病院は、感染症発生・まん延時や災害時等の状況下においても、必要ながん医療を提供できるよう、診療機能の役割分担、各施設が協力した人材育成や応援体制の構築等、地域の実情に応じた連携体制を整備する取組みを平時から推進するとともに、推進病院においてもこれらの取組みを推進するよう努める。	(参考)BCPを整備している拠点病院の割合	現-01

中間アウトカム	指標	データソース
治療経過のどこかで拠点病院・推進病院にかかる割合の増加	治療経過のどこかで拠点病院・推進病院にかかる割合	連-03
がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合の増加	がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	患
	院内がん登録の診断日から治療開始日の間にセカンドオピニオンの情報提供に関する保険申請があった患者の数	連-04
相談支援センターでセカンドオピニオンに関する情報提供を行った件数	相談支援センターでセカンドオピニオンに関する情報提供を行った件数	連-04
	患者への説明文書にセカンドオピニオンに関する項目を入れている病院の数	連-04
医療機関の機能分担を通じて質の高い安心な医療の効率的な提供	担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	患
医療が進歩していることを実感している患者の割合の増加	医療が進歩していることを実感している患者の割合	患
医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合の増加	医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合	患

分野別アウトカム	指標	データソース
全県的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合的評価	患

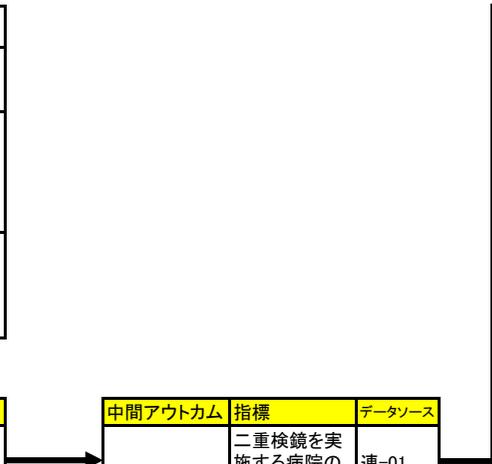
最終アウトカム	指標	データソース
がんの死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率	連-03
がんの生存率の向上	がんの5年生存率	が-01
全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	患

県は、拠点病院等、小児がん連携病院、がんゲノム医療拠点病院等が相互に連携可能となるよう検討する。	がん対策推進委員会への小児がん連携病院等の参加数	-
	患者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している拠点病院の割合	現-01
	セカンドオピニオンを提示する場合は、必要に応じてオンラインでの相談を受け付けることができる体制を確保している拠点病院の割合	現-01
患者やその家族等のアクセス向上や、医療・福祉・保健サービスの効率的・効果的な提供の観点から、拠点病院等において、患者・家族が利用可能なインターネット環境の整備、オンラインによる治療情報等の提供、相談支援のオンライン化に向けた取組みを推進する。	集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関する、冊子や視聴覚教材等がオンラインでも確認できる拠点病院の割合	現-01

病理診断の充実

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
拠点病院等は、若手病理診断医の育成をはじめ、細胞検査士等の病理関連業務を専門とする臨床検査技師等の適正配置に努めるとともに、国において、引き続き、質の高い病理診断や細胞診断を提供するための体制の整備が推進されることから、その動向を注視し、病理診断や細胞診断の充実に取り組む。	拠点病院・推進病院において常勤の病理専門医が1名以上配置されている割合	現-01 現-02
	拠点病院・推進病院において細胞診断に関する専門資格を有する者が1人以上配置されている割合	現-01 現-02
	遠隔病理診断も含め術中迅速病理診断が可能な体制を確保している拠点病院の割合	現-01
	県内病理診断・細胞診断関係者のレベルアップを目指した研修会の開催回数	連-01
	WSIを用いたネットワークに参加する病院の数	連-01
拠点病院等は、より正確で質の高い画像診断及び病理診断に基づき、治療方針を検討できるよう、放射線診断医や病理診断医をはじめとした多職種が参加するがんサージカルボードを開催するなど、がんに対する的確な診断と治療を行う診療体制を整備する。	がんサージカルボードに緩和ケア担当医師や病理医が参加している拠点病院の割合	現-01
	がんサージカルボードを設置している推進病院の割合	現-02

中間アウトカム	指標	データソース
病理診断の精度向上	二重検鏡を実施する病院の数	連-01
	ゲノム材料の基準に合致して処理されたがん検体数	連-01



[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]:がんゲノム医療の推進



[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: 科学的根拠に基づく手術療法・放射線療法・薬物療法の推進

手術療法の充実

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
より質の高い手術療法を提供するため、拠点病院をはじめとする医療機関は、外科医及び麻酔科医の人員不足の解消に努め、必要に応じて放射線療法や薬物療法の専門医と連携するなど、各医療機関の状況に応じた診療体制を整備するとともに、病院間や学会、関係団体等と連携し、手術療法の成績の更なる向上を目指し、手術療法の標準化に向けた評価法の確立や教育システムの整備を行う。	手術、放射線治療および薬物療法を効果的に組み合わせた集学的治療および緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等ががん患者の状態に応じた適切な治療を提供している拠点病院・推進病院の割合	現-01 現-02
県は、標準的治療の提供に加えて、科学的根拠に基づく、ロボット支援手術を含む鏡視下手術等の高度な手術療法の提供についても、医療機関間の役割分担の明確化及び連携体制の整備等の取組みを進める。	拠点病院における我が国に多いがん*1の鏡視下手術の割合	現-01
	厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している拠点病院の割合	現-01
拠点病院等は、手術療法による合併症予防や術後の早期回復のため、麻酔科医や手術部位などの感染管理を専門とする医師、口腔機能・衛生管理を専門とする歯科医師、歯科衛生士等との連携を図り、質の高い周術期管理体制を整備するとともに、術中迅速病理診断など手術療法の方針を決定する上で重要な病理診断を確実に実施できる体制の充実に取り組む。	がん診療連携登録歯科医師数	が-01
	拠点病院・推進病院において常勤の病理専門医が1名以上配置されている割合	現-01

*1. 大腸がん、肺がん、胃がん、乳がん、前立腺がん及び肝・胆・膵のがんを想定(以後、同)。

放射線療法の充実

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
放射線療法を実施する拠点病院及び推進病院等は、地域の医療機関と放射線療法に関する連携と役割分担を図るなど、放射線療法の提供体制の充実に取り組む、地域間格差の是正を図る。	放射線治療に関して地域の医療機関と連携するとともに、役割分担を担っている拠点病院・推進病院の割合	現-01 現-02

分野別アウトカム	指標	データソース
全県的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合的評価	患
(標準的な)診断・医療の進歩	一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	患
治療選択についての情報提供の充実(必要な情報へのアクセス改善)	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	患

最終アウトカム	指標	データソース
がんの死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率	連-03
がんの生存率の向上	がんの5年生存率	が-01
全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	患

放射線療法を実施する拠点病院及び推進病院等は、放射線治療機器の品質管理や質の高い安全な放射線療法を提供するため、放射線治療の専門医、専門看護師・認定看護師、放射線治療専門放射線技師、医学物理士など専門性の高い人材を適正に配置するとともに、多職種で構成された放射線治療チームを設置するなど、患者の副作用・合併症やその他の苦痛に対しても迅速かつ継続的に対応できる診療体制の整備に取り組む。	放射線治療専門医が常勤で配置されている拠点病院の割合	現-01
	診療放射線技師が2人以上配置されている拠点病院の割合	現-01
	専従の放射線治療に関する専門資格を有する常勤の看護師が放射線治療部門に1人以上配置されている拠点病院の割合	現-01
	拠点病院における自施設での緩和的放射線治療の実施件数	現-01
	放射線治療を実施する推進病院のうち、放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する専任の医師を配置する割合	現-02
	外来放射線照射診療料をとっている拠点病院の割合	現-01
	直線加速器による定位放射線治療加算をとっている拠点病院の割合	現-01
	IMRT加算をとっている拠点病院の割合	現-01

薬物療法の充実

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
拠点病院等は、薬物療法の急速な進歩と多様化に対応し、外来も含め安全で効果的な薬物療法を提供するため、薬物療法の専門医やがん薬物療法認定薬剤師、がん看護や薬物療法等の専門看護師・認定看護師など、専門性の高い人材を適正に配置するとともに、抗がん剤暴露対策等の医療安全活動を推進し、多職種で構成された薬物療法チームの充実を図る。	転移・再発5大がん患者の全身薬物療法のうち、8割以上を内科医が主となり担当している拠点病院の割合	現-01
	1拠点病院あたりの、がん薬物療法専門医数	現-01
	がん専門薬剤師又はがん薬物療法認定薬剤師が配置されている拠点病院の割合	現-01
	がん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の看護師が外来化学療法室に1人以上配置されている拠点病院等の割合	現-01
	免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携等して対応している拠点病院等の割合	現-01
科学的根拠を有する免疫療法の研究開発が進み、「免疫チェックポイント阻害剤」等の免疫療法が、治療選択肢の一つとなっている一方で、免疫療法と称しているものであっても、十分な科学的根拠を有する治療方法とそうでない治療法があり、これらは明確に区別されるべきとの指摘があるほか、これまでの薬物療法とは異なった副作用等も報告されていることから、拠点病院及び推進病院等においては、最新の知見に基づく正確な情報を共有するとともに、がん患者等に対し、科学的根拠に基づく正確な情報を提供する。	がん相談支援センターを設置している拠点病院・推進病院の割合	現-01 現-02
	科学的根拠や信頼できる情報に基づく情報整備・更新を定期的に行い、センター内で情報共有した拠点病院・推進病院の割合	連-02
	自施設で対応できるがんについて提供可能な診療内容を病院HP等でわかりやすく広報している拠点病院の割合	現-01

[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]:チーム医療の推進

チーム医療の推進

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
拠点病院等は、個々の患者とその家族の抱える様々な負担や苦痛に対し、安心かつ安全で質の高いがん医療を提供できるよう、手術療法、放射線療法、薬物療法に精通した専門職の配置に努めるとともに、各種専門チーム(緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム等)の充実に取り組む。	がんについて専門的な知識及び技能をもつ手術療法に携わる医師、放射線療法、薬物療法に携わる医師等を配置している拠点病院・推進病院の割合	現-01 現-02
	糖尿病の専門チームを整備し、当該糖尿病チームを組織上明確に位置付け、がん患者に対して適切な血糖コントロールを行っている拠点病院の割合	現-01
	感染症制御の専門チームを整備し、当該感染症チームを組織上明確に位置付け、がん患者に対して適切な感染症のコンサルテーションを行っている拠点病院の割合	現-01
	栄養の専門チームを整備し、当該栄養サポートチームを組織上明確に位置付け、がん患者に対して適切な栄養管理を提供している拠点病院の割合	現-01
	歯科口腔ケアの専門チームを整備し、当該歯科口腔ケアチームを組織上明確に位置付け、がん患者に対して適切な歯科口腔ケアを提供している拠点病院の割合	現-01
	褥瘡の専門チームを整備し、当該褥瘡チームを組織上明確に位置付け、がん患者に対して適切な褥瘡ケアを提供している拠点病院の割合	現-01
	がん患者に対して、周術期の口腔健康管理や、治療中の副作用・合併症対策、口腔リハビリテーションなど、必要に応じて院内又は地域の歯科医師と連携している拠点病院の割合	現-01
拠点病院及び推進病院等は、各種がん治療の副作用・合併症の予防や軽減など、患者の更なる生活の質の向上を目指し、愛媛県歯科医師会等との医科歯科連携による口腔機能管理(口腔ケア)の推進をはじめ、食事療法等による栄養管理やリハビリテーションの推進など、多職種間の配置及び職種間の連携を推進する。	がん患者に対して、周術期の口腔健康管理や、治療中の副作用・合併症対策、口腔リハビリテーションなど、必要に応じて院内又は地域の歯科医師と連携している拠点病院の割合	現-01
医科歯科連携の下、口腔がんの外科切除による欠損部の再建等や嚥下訓練及び口腔機能管理(口腔ケア)等に取り組み、適切な栄養サポートへつなげる。	歯科口腔ケアの専門チームを整備し、当該歯科口腔ケアチームを組織上明確に位置付け、がん患者に対して適切な歯科口腔ケアを提供している拠点病院の割合	現-01

中間アウトカム	指標	データソース
医療者間で情報共有されていた患者の割合の増加	医療者間で情報共有されていた患者の割合	患
主治医以外に相談しやすいスタッフがいた患者の割合の増加	主治医以外に相談しやすいスタッフがいた患者の割合	患

分野別アウトカム	指標	データソース
全県的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合的評価	患

最終アウトカム	指標	データソース
がんの死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率	連-03
がんの生存率の向上	がんの5年生存率	が-01
全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	患

愛媛県がん診療連携協議会における連携体制の強化

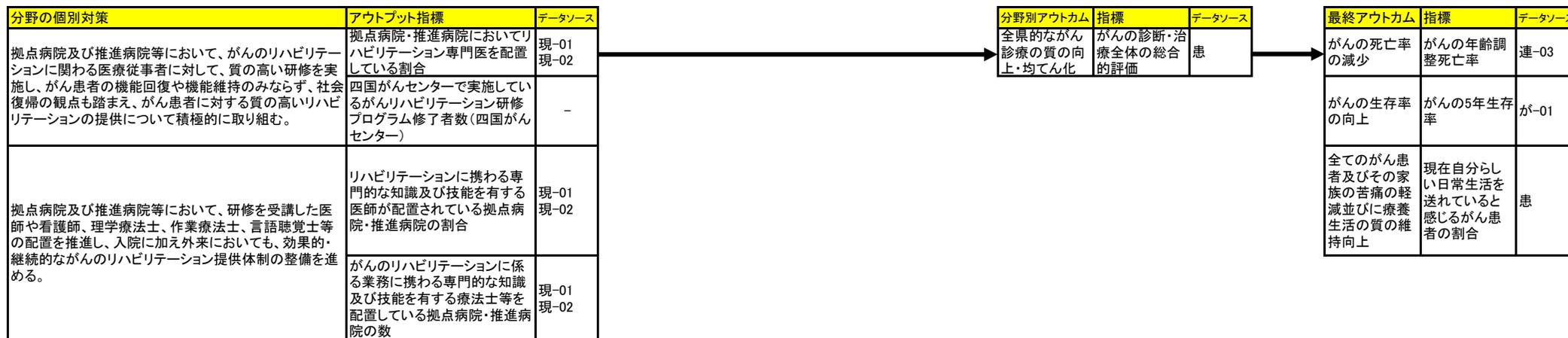
分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
拠点病院及び推進病院における様々な取組みを基に、県全体のがん医療の質の向上を図るため、連携協議会において、各病院におけるPDCAサイクル確立のための支援に努める。	県がん診療連携協議会PDCA部会の開催回数	連-01
連携協議会は、希少がん、難治性がん、小児がん、AYA世代のがんなど、専門的な対応が必要なケースについて、個々の患者の状況に応じた必要な支援が速やかに受けられるよう、関係機関の役割分担と連携の強化に努める。	県がん診療連携協議会集学的治療専門部会の開催回数	連-01
連携協議会を中心として、引き続き、個人情報に十分に配慮した上で、ICT(情報通信技術)を活用するなど、県医師会をはじめとした関係機関と協力し、必要な診療情報の共有を進め、円滑な連携体制の構築に取り組む。		
県がん診療連携拠点病院である四国がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会等の全国ネットワークから得られる最新の情報について、連携協議会を通し、県内の関係者へ情報提供を行う。	県がん診療連携協議会役員会、幹事会の開催回数	連-01

拠点病院等と地域の医療機関との連携強化

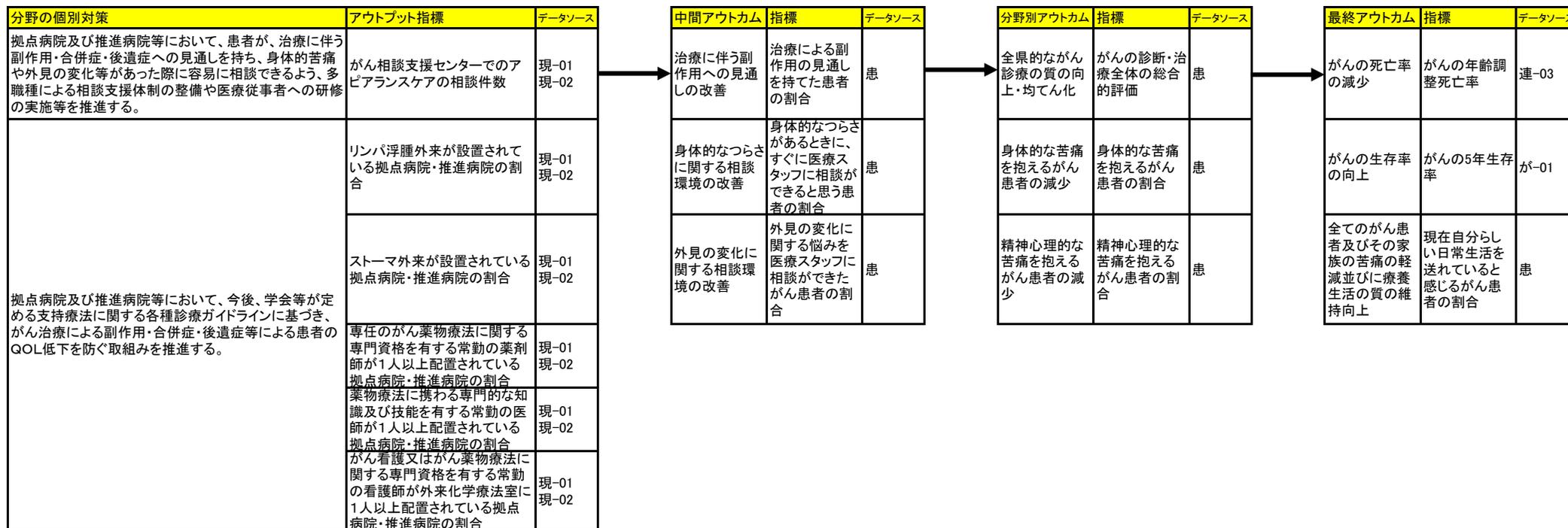
分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
拠点病院及び推進病院は、専門的ながん医療を提供するだけでなく、地域における医療連携の拠点として、医療従事者への研修、地域の医療機関に対する診療支援、院内がん登録、地域のがん患者等に対する情報提供や相談支援の実施等を行い、地域におけるがん医療提供体制の連携強化に努める。	地域の医療機関から紹介されたがん患者の受け入れを行っており、がん患者の状態に応じ、地域の医療機関へがん患者の紹介を行っている拠点病院・推進病院の割合	現-01 現-02
	二次医療圏においてがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断、副作用対応を含めた放射線治療・薬物療法の推進及び緩和ケア等に関する研修を実施している拠点病院の割合	現-01
	地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている拠点病院の割合	現-01
	拠点病院と連携して、患者、その家族及び地域の医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している推進病院の割合	現-02
	相談員が院内外の多様な相談窓口と連携できた拠点病院・推進病院の割合	連-02
	拠点病院における緩和ケアチームの新規介入患者数	現-01
拠点病院及び推進病院は、緩和ケアチームの設置による切れ目のない緩和ケアの提供、相談支援センター設置による院内外のがん患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等からの相談等への対応、地域の医療機関・医師等に対する合同のカンファレンスや研修の実施など、地域におけるがん診療等の連携拠点として様々な対策に取り組む。	拠点病院・推進病院のがん相談支援センターへの相談件数	連-01
	診療連携を行っている地域の医療機関等の診療従事者も参加する合同のカンファレンスを毎年定期的に開催している拠点病院の割合	現-01

<p>拠点病院は、地域全体のがん医療水準の向上のため、地域においてがん診療を行っている医療機関に対する診療支援や、地域のがん診療に携わる医療従事者に対する研修を積極的に実施する。</p>	<p>病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線治療、薬物療法又は緩和ケアの提供に関する相談など、地域の医療機関の医師と診断及び治療に関する相互的な連携協力体制・教育体制を整備している拠点病院の割合</p>	<p>現-01</p>
<p>拠点病院及び推進病院は、緩和ケア病棟、緩和ケア外来、緩和ケアチーム、在宅療養支援診療所との連携をはじめ、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、認定がん医療ネットワークナビゲーター等とも密接に連携し、地域ごとの連携強化を図る。</p>	<p>医療圏において、地域の医療機関や在宅診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援のあり方について情報を共有し、役割分担や支援等について議論する場を年1回以上設けている拠点病院の割合</p>	<p>現-01</p>
<p>拠点病院及び推進病院は、腫瘍センターなどのがん診療部を設置するなど、各診療科の横のつながりを重視した診療体制の構築に努めるとともに、地域の医療機関の連携と役割分担を図り、特に高度な技術と設備等を必要とする医療については、地域性に配慮し、計画的に集約化を図る。</p>	<p>がん診療を統括する診療部が設置されている拠点病院の割合</p>	<p>現-01</p>
<p>地域連携や在宅医療・介護サービスについては、患者の複雑な病態や様々なニーズに対応できるよう、関係機関の連携の下、地域の経験や創意を取り入れ、地域完結型の医療・介護サービスを提供できる体制の整備を進める。</p>	<p>在宅緩和ケア推進推進モデル事業の地域数</p>	<p>緩-01</p>

[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: がんのリハビリテーションの推進



[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: 支持療法の推進



[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: 緩和ケアと在宅医療の推進・充実

がんと診断された時からの緩和ケアの推進

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
医療機関において、がん医療に携わる全ての医療従事者により、がん患者の身体的苦痛や、がん患者やその家族等の精神心理的苦痛、社会的な問題等の把握及びそれらの個別の状況に応じた適切な対応が、地域の実情に応じて、診断時から一貫して行われる体制の整備を推進する。	緩和ケアチームを有する病院の割合	国-03
	拠点病院の緩和ケアチーム新規診療症例数	現-01
	緩和ケア外来の新規診療患者	現-01
	緩和ケア外来への地域の医療機関からの年間新規紹介患者数	現-01
全ての医療従事者は、診断結果や病状を患者及びその家族へ伝える際には、心情に十分に配慮する。		
拠点病院は、県が四国がんセンターへの委託により設置した緩和ケアセンターを核として、これまで取り組んできた緩和ケア研修会の質の向上を図るため、患者の視点を取り入れるなど、研修内容の更なる充実を図る。	緩和ケアセンターが主催する緩和ケア研修会の開催数	県-03
拠点病院等は、緩和ケア研修会について、がん医療に携わる医師のほか、歯科医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士等の医療従事者も受講しやすい環境づくりと受講の促進に努める。	緩和ケア研修会への医師及び医師以外の医療従事者の参加者数	県-03
	医師会、薬剤師会、看護師会による緩和ケアに係る研修会・症例検討会等の開催数と参加者数	緩-01
大学等の教育機関では、実習などを組み込んだ緩和ケアの実践的な教育プログラムを策定する他、医師・看護師・社会福祉士・法定研修生・ケアマネジャー・薬剤師の卒前教育を担う教育指導者を育成するよう努める。		

中間アウトカム	指標	データソース
苦痛に対する適切なケア・治療の普及（緩和ケアチームの質向上）	つらい症状にはすみやかに対応してくれたと回答した患者・家族の割合	患
	身体的・精神心理的な苦痛により日常生活に支障を来しているがん患者の割合	患
がん患者が、医療者に苦痛の表出ができること	身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分であると思う患者の割合	患
	身体的なつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると思う患者の割合	患
	心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると思う患者の割合	患
	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	患
	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	他
	医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合	他

分野別アウトカム	指標	データソース
患者・家族のQOL向上（苦痛の緩和）	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	患
	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	患
	療養生活の最終段階において、身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	遺

最終アウトカム	指標	データソース
全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	患

県は、これまでの緩和ケアの提供に関する取組みについて、がん患者・家族等を対象とした実態調査を実施し、質的な評価を行うことにより、緩和ケア提供体制の更なる充実と質の向上を図る。

拠点病院等が中心となって、医師をはじめとする医療従事者の連携を図り、患者とその家族が、緩和ケアチーム等が提供する専門的な緩和ケアへのアクセスが容易になるよう改善するとともに、個人・集団カウンセリングなど、患者とその家族や遺族などがいつでも適切に緩和ケアに関する相談や支援を受けられるよう体制の充実に努める。

<p>専門的な緩和ケアの質の向上のため、拠点病院が中心となり、がん看護専門看護師・認定看護師、がん専門薬剤師、がん病態栄養専門管理栄養士、社会福祉士、臨床心理士等の育成及び適正配置を図り、緩和ケアチームや緩和ケア外来の診療機能の向上を図る。</p>	<p>緩和ケアチームに緩和薬物療法に関する専門資格を有する者を配置している拠点病院の割合</p>	現-01
	<p>緩和ケアチームに医療心理に関する専門資格を有する者を配置している拠点病院の割合</p>	現-01
	<p>緩和ケアチームに相談支援に関する専門資格を有する者を配置している拠点病院の割合</p>	現-01
	<p>緩和ケアチームに緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する看護師を配置している推進病院の割合</p>	現-02

心のケアを含む切れ目のない全人的な緩和ケアの提供

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
<p>拠点病院は、精神心理的苦痛に対するケアを推進するため、サイコオンコロジスト(精神腫瘍医)や臨床心理士等の心のケアを専門的に行う医療従事者の育成に取り組む。</p>	<p>日本サイコオンコロジー学会登録精神腫瘍医を配置する拠点病院の割合</p>	現-01
	<p>日本診療心理士資格認定協会臨床心理士を配置する拠点病院の割合</p>	現-01
<p>精神心理的・社会的苦痛にも対応できるよう、拠点病院や医師会、薬剤師会、看護協会等は、医師だけでなく、がん診療に携わる医療従事者に対して、幅広く緩和ケア研修の受講促進に取り組み、基本的な緩和ケアの更なる普及と実践を推進する。</p>	<p>緩和ケア研修会に参加する職種の種類</p>	県-03
<p>がん性疼痛で苦しむ患者をなくすため、関係者等が一体となって、がん性疼痛の緩和に有効な医療用麻薬等の適正な使用と普及を図る。</p>	<p>医療用麻薬の消費量(モルヒネ換算合計)</p>	他
	<p>がん性疼痛緩和指導管理料を算定する拠点病院・推進病院の割合</p>	現-01 現-02

103

住み慣れた家庭や地域での療養生活の支援

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
愛媛県在宅緩和ケア推進協議会において、愛媛県在宅緩和ケア推進モデル事業を継続するとともに、更なる活動地域の拡大及び全県への普及に努める。	県在宅緩和ケア推進協議会のモデル事業の地域数	緩-01
各地域において、在宅医療に携わる多職種から成るチームの中核となる在宅緩和ケアコーディネーターを配置し、かかりつけ医、訪問看護ステーション、後方支援病院などの参加・協力を得て、在宅医療提供機関のネットワーク化と情報共有を推進し、拠点病院等から退院後、在宅療養となったがん患者を地域全体で支える仕組みを広める。	在宅緩和ケアコーディネーターの養成者数	緩-01
同協議会、地域の医師会等の関係機関は、地域特性を活かした在宅緩和ケア推進モデル事業の取組み及び成果を、広く県民に情報提供するなど、普及啓発に取り組む。	県在宅緩和ケア推進モデル事業に関する公開講座の開催数	緩-01
県は、四国がんセンターへの委託により専従のがん地域連携コーディネーターを配置し、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関が連携して治療にあたる地域連携クリティカルパスの普及や退院後のケアを提供する機関との調整・支援など、在宅医療を支える体制の支援及び充実に取り組む。		
がん患者が入院から在宅療養へと円滑に移行できるよう、県在宅緩和ケア推進協議会において関係機関との連携の下、医療・介護の連携を見据え、在宅緩和ケアを含む在宅医療等の提供体制の構築に向け検討を進める。	県在宅緩和ケア推進協議会及び松山市による症例検討会の開催回数	緩-01
がん治療を継続する患者の退院時の調整を円滑に行うため、拠点病院等が中心となって、情報提供、相談支援、服薬管理、在宅療養支援診療所と訪問看護ステーション・薬局との連携など、在宅療養の支援に必要な体制を整備する。	拠点病院における地域連携を推進するための、地域の役割分担に関する他施設合同会議の開催回数	現-01
医薬品等の供給拠点となる薬局の機能強化等により、在宅医療に必要な医薬品及び医療機器の供給体制の充実を図る。	県在宅緩和ケア推進協議会及び松山市による症例検討会に参加する薬剤師の数	緩-01
	24時間対応の調剤薬局の数	緩-01
	在宅患者訪問薬剤管理指導料の調剤報酬加算を取得した調剤薬局の数	緩-01
拠点病院等での治療を終え、自宅での療養を希望するがん患者のニーズに対応するため、がん診療連携拠点病院等をはじめとする入院医療機関と在宅緩和ケアに携わる地域の病院・診療所、訪問看護ステーション等が連携して、在宅での療養生活をサポートする地域連携体制の構築を図る。	県在宅緩和ケア推進協議会のモデル事業の地域数	緩-01
拠点病院及び推進病院等は、地域連携クリティカルパスを活用するほか、愛媛県在宅緩和ケア推進モデル事業や若年がん患者在宅療養支援事業等の支援制度について、治療を終えた患者及びその家族へ紹介するなど、各地域の特性を踏まえ、患者とその家族が希望する療養場所を選択でき、切れ目なく質の高い緩和ケアを含む在宅医療・介護サービスを受けられる体制を実現するよう努める。	拠点病院・推進病院における地域連携クリティカルパスの運用件数	連-01
県及び市町は、若年がん患者在宅療養支援事業について、対象となる患者・家族等はもとより、情報提供すべき拠点病院等の医療者、対応に当たる在宅医療・介護事業者に対して一層の周知に努める。	若年がん患者在宅療養支援事業による助成を行った市町の数	-

中間アウトカム	指標	データソース
療養場所に関する話し合いの普及	患者と医師間で最期の療養場所に関する話し合いがあった	遺
死亡場所が自宅の割合の増加	死亡場所が自宅の割合	国-02



拠点病院及び推進病院等は、市町及び地域の医師会、医療機関等と連携し、在宅療養中のがん患者の病状の急変時において、緊急に入院の受け入れができるよう連携・支援体制の充実に努める。	県在宅緩和ケア推進協議会のモデル事業の地域別バックベットの数	緩-01
	在宅緩和ケア充実診療所・病院加算を取得した診療所の数	緩-01
訪問看護に従事する看護師の確保を推進するとともに、在宅で療養するがん患者の疼痛緩和、看取りまでを含む訪問看護の24時間連絡体制の充実に努める。	医療保険の機能強化型訪問看護ステーションⅠもしくはⅡと、ターミナルケア加算を取得した訪問看護事業所数	緩-01

多職種協働による在宅緩和ケア提供体制の充実

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
愛媛県在宅緩和ケア推進協議会及び地域の医師会は、関係機関との連携の下、地域における在宅緩和ケア提供体制の充実のため、地域で在宅医療に携わる多職種からなる症例検討会及び研修会等を開催し、課題・好事例等について共有を図り、関係者の資質の向上に取り組む。	県在宅緩和ケア推進協議会及び松山市による症例検討会の開催回数	緩-01
がん患者が在宅において、適切な緩和ケアと質の高い医療が受けられるよう、保健所及び市町が調整役となり、病診連携をはじめ地域の薬局の参画、訪問看護サービスの充実、県民への意識の啓発を行い、地域で支えるネットワークを構築する。	県在宅緩和ケア推進協議会及び松山市による症例検討会に保健所又は市町が参加した件数	緩-01
	専門医療機関連携薬局（傷病の区分：がん）の認定数	国-05
	ターミナルケアマネジメント加算を取得した居宅介護支援事業所数	緩-01
拠点病院は、在宅緩和ケアを提供する医療機関等と連携し、医療・福祉従事者に対して、在宅医療・介護に対する理解を一層深めるとともに、がん患者への医療・介護サービスについて、よりきめ細かな知識と技術を習得させるための研修等を実施する。	緩和ケアに関する地域連携を推進するために、地域の他施設が開催する多職種連携カンファレンスに参加する拠点病院の割合	現-01
	当該医療圏において、地域の医療機関や在宅診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援のあり方について情報を共有し、役割分担や支援等について議論する場を年1回以上設けている拠点病院の割合	現-01
がん性疼痛管理や医療用麻薬に詳しい専門職等の育成や確保を図るため、拠点病院・推進病院等、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会等が連携して、在宅緩和ケアの関係者（医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、介護関係者等）に対する専門的な研修を実施する。	在宅緩和ケア推進協議会及び松山市による研修会の開催回数	緩-01
在宅がん患者の口腔機能管理（口腔ケア）などのため、歯科診療所との連携体制の充実に努める。	がん患者に対して、周術期の口腔健康管理や、治療中の副作用・合併症対策、口腔リハビリテーションなど、必要に応じて院内又は地域の歯科医師と連携している拠点病院の割合	現-01

質の高い在宅緩和ケアを提供できる人材の育成

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
愛媛県在宅緩和ケア推進協議会は、各地域において、在宅医療に携わる多職種から成るチームの中核となる在宅緩和ケアコーディネーターを養成するための研修を開催する。	在宅緩和ケアコーディネーター養成研修の開催回数	緩-01
四国がんセンター内に設置された、緩和ケアセンター、地域医療連携研修センター、患者・家族総合支援センターにおいて、在宅緩和ケアの連携を支える人材の養成、在宅緩和ケアに携わる医療従事者の支援等に取り組む。	緩和ケア推進事業(委託事業)での研修会の開催回数	県-03

[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: 希少がん・難治がんの対策の推進

希少がん・難治性がん患者への適切な医療提供

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
希少がん・難治性がんなど、専門的な対応を要する治療等については、県がん診療連携拠点病院である四国がんセンター及び特定機能病院である愛媛大学医学部附属病院の体制の充実に努めるとともに、連携協議会等において、医療機関ごとの役割分担を検討する。	拠点病院・推進病院は、県がん診療連携協議会等で連携を図り、希少がん、難治性がん、小児・AYA世代のがんなど、専門的な対応を要する治療等の役割分担及び施設と患者の集約化に努めている。(県がん診療連携協議会専門部会の開催回数)	-
	希少がん診療を積極的に受け入れている拠点病院の数と他施設へ紹介する拠点病院の数	現-01
	希少がんに対する臨床試験を実施している拠点病院の数	現-01
	難治性がん(*1)に対して臨床試験を行っている拠点病院の数	現-01

*1. 膵がんを代表例として想定。難治性がんの定義について、今後検討が必要。

中間アウトカム	指標	データソース
連携の円滑化(速やかな医療の提供)	希少がん患者の初診から診断までの時間、診断から治療開始までの時間	患
希少がんの患者の診療情報へのアクセス拡充	治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得ることができた希少がん患者の割合	患
希少がん診療における適切な役割分担の実現	希少がん診療を積極的に受け入れている拠点病院等における治療開始数	現-01 登-03
難治性がん診療における適切な役割分担の実現	難治性がん診療を積極的に受け入れている拠点病院等における治療開始数	現-01 登-03

分野別アウトカム	指標	データソース
希少がん患者の高度かつ専門的な医療へのアクセシビリティの向上	希少がんについて、担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	患
(難治性がんを含む)全県的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合評価(平均点または評価が高い割合) *2	患

*2. がん種別で評価が困難なため全体の評価で代替。

最終アウトカム	指標	データソース
希少がんの生存率向上	希少がんの5年生存率	登-01 登-03
希少がん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる希少がん患者の割合	患
難治性がんの年齢調整死亡率の減少	難治性がん(代表例:膵がん)の年齢調整死亡率	国-02
難治性がんの生存率向上	難治性がん(代表例:膵がん)の5年生存率	登-01 登-03
(難治性がんを含む)がん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合(*2)	患

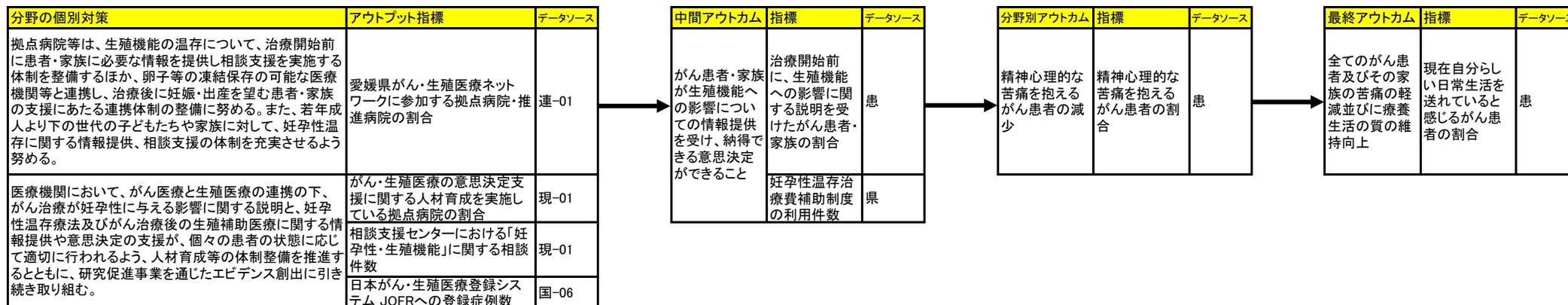
- ・希少がん及び難治性がんの患者を適切な医療機関へ繋げるための環境整備
- ・希少がん及び難治性がんへ対応が可能な医療機関等に関する情報提供

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
希少がんについては、数は少ないものの、県内においても一定数の罹患が見込まれるが、対応可能な医療機関等へつなげるために必要な情報が不足している。国では、適切な集約化と連携のあり方について、「希少がん対策ワーキンググループ」等の議論を踏まえ、対策が進められていることから、県内においても、県がん診療連携協議会を通じたネットワークの構築など、連携体制を整備し、県民、地域の医療機関等関係機関への幅広い周知に取り組む。	県がん診療連携協議会役員会・幹事会の開催回数	連-01
難治性がんについては、未だ有効性の高い診断・治療法が確立していない中、国が、ゲノム医療やリキッドバイオプシー検査等を用いた低侵襲性診断技術や早期診断技術、治療技術等の開発を推進することとしているため、県がん診療連携拠点病院等においても、有効性の高い診断・治療方法等の研究の進展等について随時、連携協議会等を通じ共有するとともに、確立されたものについては、県民、地域の医療機関等関係機関への周知に取り組む。	県がん診療連携協議会役員会・幹事会の開催回数	連-01
	難治性がんに関するHP等の整備を行っている拠点病院の数	現-01
	難治性がん診療を積極的に受け入れている拠点病院の数と他施設へ紹介する拠点病院の数	現-01

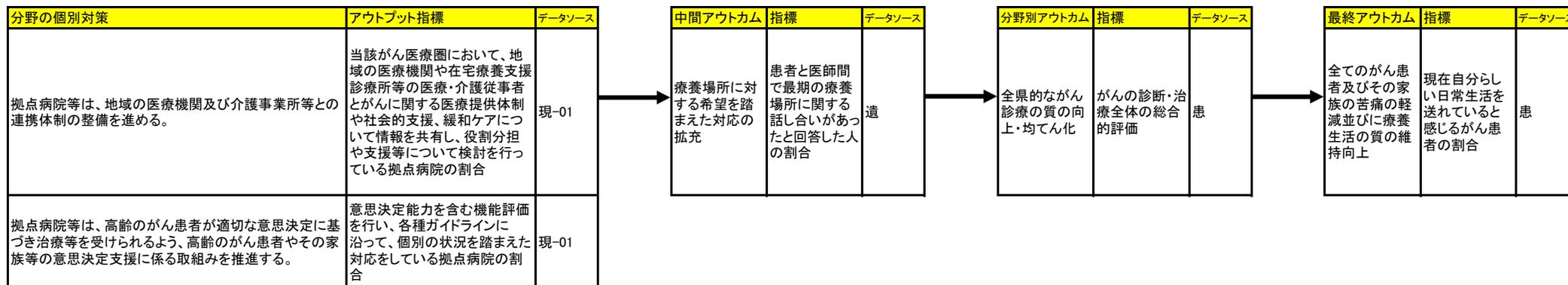
[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: 小児・AYA世代のがん対策の推進



[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: 妊孕性温存療法に関する体制整備



[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: 高齢者がん対策の推進



[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: 新規医療技術の速やかな医療実装

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
拠点病院等は、患者に対し、臨床研究等の適切な実施及び情報提供を行うとともに、必要に応じて適切な医療機関を紹介する。	臨床試験に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口を設置している拠点病院の割合	現-01



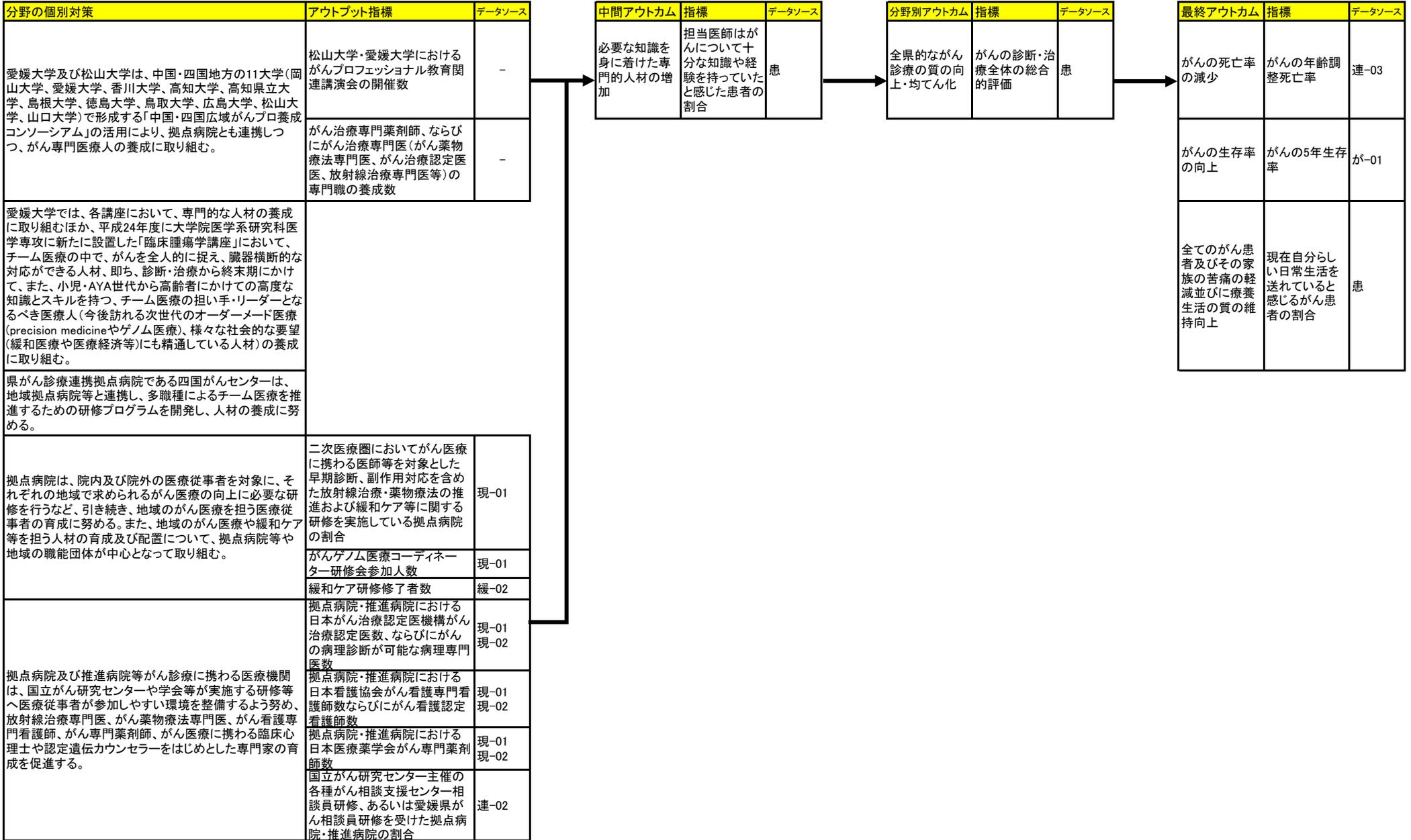
分野別アウトカム	指標	データソース
全県的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合的評価	患
(標準的な)診断・医療の進歩	一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	患
治療選択についての情報提供の充実(必要な情報へのアクセス改善)	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	患



最終アウトカム	指標	データソース
がんの死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率	連-03
がんの生存率の向上	がんの5年生存率	が-01
全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	患

[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: 人材育成と教育環境の整備

- ・専門的な知識を持った人材の育成及び適正配置
- ・ICTを活用した教育環境の整備



拠点病院及び推進病院は、放射線療法及び薬物療法を含む質の高い集学的治療を行えるよう、研修を通じ各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療の一層の普及を図る。	放射線治療専門医が配置されている拠点・推進病院の割合と、専門医数	現-01 現-02
	がん薬物療法専門医が配置されている拠点・推進病院の割合	現-01 現-02
研修実施機関は、ICTを活用したeラーニングシステムの導入など、受講者の負担に配慮した研修提供システムの構築に努める。		
拠点病院は、専門医等の配置状況について、ホームページ等で情報提供を行う。		

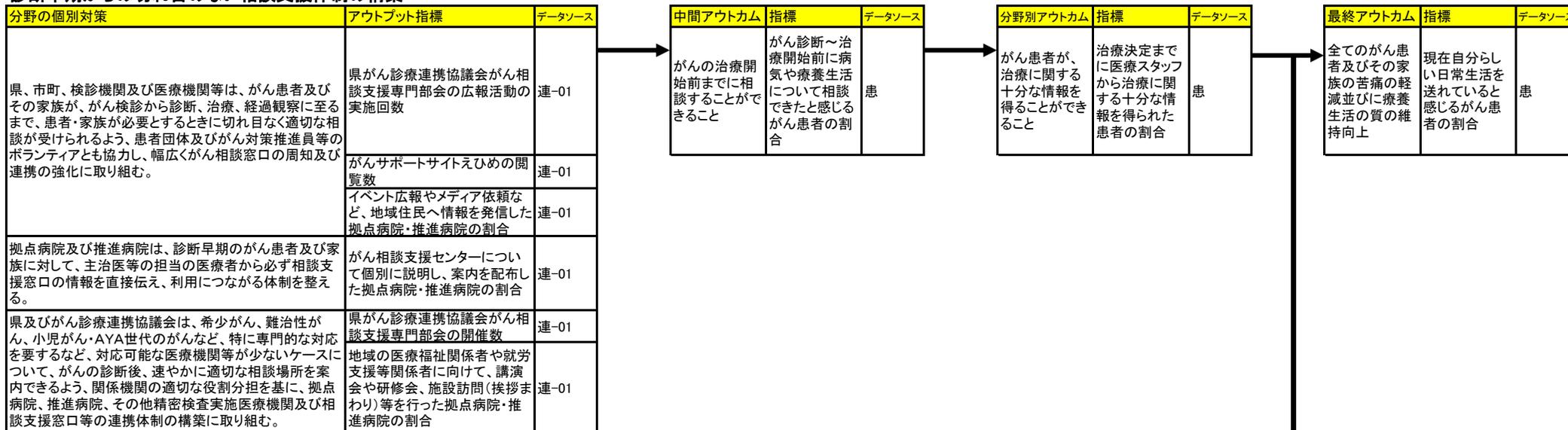
[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: がん登録の充実と活用促進

- ・がん登録の充実及び精度の維持・向上
- ・がん登録の普及啓発及び研究等への活用促進



[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: 相談支援及び情報提供

診断早期からの切れ目のない相談支援体制の構築



関係機関の連携による相談支援体制の充実・質の向上

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
<p>四国がんセンターは、「がん患者・家族総合支援センター」において、がん患者とその家族に対する相談機能の充実や、入院から在宅に移行した後の療養生活の受け皿となる地域の医療機関に対する支援機能の強化を図るなど、がん対策に携わる関係者への総合的な支援体制を構築するなど、県がん診療連携拠点病院としてがん対策の中核的機能を担う。</p>	<p>患者・家族総合支援センターの利用件数</p>	他-02
	<p>患者・家族総合支援センターのイベント開催数</p>	他-02
<p>拠点病院等においては、患者と医療従事者が交流する患者サロンが、患者団体及び院内ボランティア等の協力により実施されている。行政及び拠点病院は、患者や家族の気持ちに寄り添うこうした取り組みが継続できるよう支援に努める。</p>	<p>患者サロンを設置する拠点病院・推進病院の割合</p>	連-01
	<p>がんサロンの広報活動を行った拠点病院・推進病院の割合</p>	連-01
	<p>がんサロン・患者会の運営支援を行った拠点病院・推進病院の割合</p>	連-01
<p>愛媛県がん相談支援推進協議会が中心となって、総合的な相談支援体制のあり方等について検討を進め、愛媛県議会ががん対策推進議員連盟が提案する、全市町へのがんサロン設置との関係にも十分留意しながら、県民本位の相談支援体制の更なる充実に努める。</p>	<p>県がん相談支援推進協議会の開催数</p>	相-01
<p>行政、拠点病院等、患者団体等の各レベルでどのような情報提供と相談支援が適切か明確にし、医療機関、患者団体、企業等の協力の下、より効果的な体制構築を進める。</p>	<p>協議会や部会に参加し、課題を共有、検討した拠点病院・連携病院の割合</p>	連-01
<p>拠点病院は、相談支援センターにがん対策情報センター等による研修を修了した専任者を複数人配置するとともに、院内及び地域の医療従事者の協力を得て、院内外のがん患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等からの様々な相談に対応する体制を整備するため、相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携体制の構築に積極的に取り組む。</p>	<p>拠点病院のがん相談支援センターに配置されている相談員の研修修了者数</p>	現-01
	<p>ピアサポート活動の場を作った拠点病院・推進病院の割合</p>	連-01
<p>推進病院は、院内に相談支援機能を有する窓口を設置し、相談員を配置するとともに、拠点病院と連携して、患者、その家族及び地域の医療機関等からの相談等に対応する体制の充実に努める。</p>	<p>がん相談支援センターを設置する推進病院の割合</p>	現-02
<p>希少がん・難治性がん、小児がん・AYA世代のがんなど、専門的な対応が必要ながん患者及び家族等に対し、医療従事者が適切な施設を紹介できるよう、四国がんセンターの患者・家族総合支援センターの活用等、がん診療連携協議会等において、医療従事者等に対する相談支援体制について検討する。</p>		
<p>病理医の不足が深刻化する中、拠点病院及び推進病院において、速やかに適切な病理コンサルテーションが受けられるようネットワークの充実に推進する。</p>		

中間アウトカム	指標	データソース
<p>相談支援・情報提供の充実</p>	<p>がん相談支援センターを知っている患者・家族の割合</p>	患
	<p>相談できる支援があると感じた患者・家族の割合</p>	患
	<p>治療費用負担が原因で、がんの治療を変更・断念した患者のうち、治療費用負担の問題がなければ受けたであろう治療が、保険診療範囲内での治療だった患者の割合</p>	患

分野別アウトカム	指標	データソース
<p>がん患者が、相談を利用し、役だったと思えること</p>	<p>相談支援センターを利用したことのある人が役に立ったがん患者の割合</p>	患
<p>がん患者の家族が、悩みや負担を相談できること</p>	<p>家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合</p>	患

行政、関係機関等による適切な情報発信

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
がん対策に取り組む関係機関は、いつでも県民ががんに関する適切な相談が受けられるよう、健康イベントをはじめとした幅広い機会をとらえて、がん相談支援窓口の周知及び相談機会の提供に取り組む。	地域でのイベントに参加した拠点病院・連携病院の割合	連-01
愛媛県がん相談支援推進協議会が中心となって作成している、療養生活における不安や悩みへの対応やがん医療のことなど、がん患者及びその家族が求める情報を患者・家族の視点で取りまとめた冊子等の患者支援ツールについて、必要とする患者等に確実に届ける体制づくりに努め、科学的根拠に基づいた正しい情報の普及に取り組む。	科学的根拠や信頼できる情報に基づく情報整備・更新した情報を活用した拠点病院・推進病院の割合	連-01
	がんの冊子やリーフレットを設置した拠点病院・推進病院の割合	連-01
	がんサポートブックえひめの配布数	連-01
	がんサポートブックえひめなど、地域の療養情報を活用した拠点病院・推進病院の割合	連-01
県及び医療機関は、医療機能情報提供制度において、がんに関する事項を含め、医療機能情報をわかりやすく提供する。		
拠点病院及び推進病院は、相談支援センターの人員確保、院内及び院外への広報、相談支援センター間の情報共有や協力体制の構築、相談者からフィードバックを得るなどの取組みを実施するよう努め、県はこうした取組みを支援する。		
拠点病院は、相談支援センターと院内診療科との連携を強化し、特に精神心理的苦痛を持つ患者とその家族に対して、専門家による診療を適切な時期に提供できるよう努める。	緩和ケアチームに、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する常勤の医師を有する拠点病院の割合	現-01
	がん患者の自死に関する諸問題に院内で対応できる拠点病院の割合	現-01
県は、愛媛県診療連携協議会が登録部会で進めている「がんサポートサイトえひめ」作成等の取組みを支援することにより、愛媛県内のがん治療に関わるすべての正しい情報をまとめたワンストップ窓口を整備し、がん患者及びその家族を含む県民が、いつでも必要な情報が得られる体制を構築する。	がんサポートサイトえひめの閲覧数	連-01
県は、生活習慣病予防のための県民健康づくり運動や、ピンクリボンえひめによる乳がんの予防啓発運動等を通じ、がん対策推進員等のボランティア、市町・検診機関・企業とも連携し、県民に対するがんに関する正しい知識の普及啓発に取り組む。	県民健康づくり運動推進会議の開催回数	県-03
	ピンクリボンえひめ協議会によるイベント参加数	他-01

ピアサポート活動の更なる充実

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
がん患者やその家族が、がんの療養生活等で生じる不安を身近な場所で気軽に相談し、様々な分野の情報をワンストップで入手できる場として、おれんじの会が運営する「がんと向き合う人のための町なかサロン」が交通の便のよい中心市街地に開設されている。引き続き、ピアサポートに主体的に取り組んできたノウハウの活用に加え、拠点病院の相談支援センターと連携して、医療や介護、心理面の悩みなど様々な分野の相談に対応できる体制を整備し、患者とその家族に対する一層の相談支援の充実に努める。	町なかサロンの利用件数	他-03
	町なかサロンのイベント開催数	他-03
がん患者やその家族の保有する不安や悩みを軽減するためには、がんを経験した者が当事者としての経験を踏まえ相談支援を行うことが求められることから、県では、引き続き、ピアサポートを推進するための研修を実施するなど、がん患者・経験者との協働により、ピアサポートの更なる充実に努める。	ピアサポーターの養成数	他-03

中間アウトカム	指標	データソース
ピアサポーターの認知度	ピアサポーターについて知っているがん患者の割合	患

分野別アウトカム	指標	データソース
がん患者がピアサポートを利用し、役立ったと思えること	ピアサポートを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合	患



[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: 社会連携に基づくがん対策

緩和ケアの意義及び必要性等に関する普及啓発

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
県及びがん診療連携拠点病院等は、緩和ケアの意義やがんと診断された時からの緩和ケアが必要であることを、様々な機会をとらえ、県民や医療・福祉従事者などに対して幅広く普及啓発する。	県在宅緩和ケア推進協議会及び松山市による公開講座の開催回数	緩-01
	県在宅緩和ケア推進協議会及び松山市による症例検討会の開催回数	緩-01

分野別アウトカム	指標	データソース
望んだ場所で過ごせたがん患者の割合の増加	望んだ場所で過ごせたがん患者の割合	遺

最終アウトカム	指標	データソース
全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	患

在宅緩和ケアに関する情報提供及び相談支援

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
県及び関係機関は、在宅緩和ケアコーディネーターについて、広く患者・家族及び県民への周知に取り組む。	コーディネーターの啓発についての活動	緩-01
県、市町、拠点病院等、地域の医療機関及び患者団体等は、様々な不安や負担を抱えるがん患者及び家族のために、介護保険制度をはじめ社会保障制度や介護技術等について情報提供する他、必要なサービスが受けられるよう相談支援を行う。	がん相談支援センターでの社会保障制度等に関する相談件数	連-01
	がんサポートサイトえひめ閲覧数	連-01
拠点病院等は、患者・家族が療養場所の選択肢として在宅療養を検討できるよう、早期に情報提供を行う。地域の医師会、市町等、関係機関は、病状の急変時にも、早期に適切な医療等が受けられるよう、関係機関との連携・支援体制の周知に努める。	愛媛県在宅緩和ケア推進協議会ホームページの閲覧数	緩-01

中間アウトカム	指標	データソース
希望時にセカンドオピニオンを受けられる割合の向上	がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	患
療養場所に関する話し合いの普及	患者と医師間で最期の療養場所に関する話し合いがあった割合	遺

[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: がん患者等の社会的な問題への対策(サバイバーシップ支援)

就労支援・治療と仕事との両立支援の充実

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
がん患者の就労上の課題は様々であるが、特に、病気の診断を受け治療開始前の早期に退職する患者も多いため、診断後、早期に適切な相談支援を受けることができるよう、支援体制の充実を検討する。	がん相談支援センターにおいて就労支援相談を受けることができる体制を整えている拠点病院・推進病院の割合	連-01
四国がんセンターは、平成25年度から取り組んでいる就労相談支援事業について、これまでのノウハウをがん診療連携協議会を通じ関係機関と共有するなど、県内における展開への支援に努める。	四国がんセンターと愛媛労働局の連携による就労相談の件数	他-02
拠点病院等は、がん患者の就労や治療と職業生活の両立を支援するため、相談支援センターにおいて、社会保険労務士等専門家の協力の下で、相談支援の充実に努める。	拠点病院のがん相談支援センターにおける就労支援の相談件数	連-01
	拠点病院における就労の専門家による相談会の回数	現-01
	ハローワークと連携した就職支援をおこなっている拠点病院の割合	国-07
	就労支援・両立支援に取り組んだ拠点病院・推進病院の割合 おれんじの会への委託事業による就労アドバイザーの派遣回数	連-02 県-03
県は、がん診療連携拠点病院強化事業等により、各がん診療連携拠点病院で実施する就労支援等の取組みが進むよう支援を行う。		
関係機関は、愛媛労働局に設置された「長期療養者就職支援担当者連絡協議会」及び「愛媛県地域両立支援チーム」における関係者の議論を踏まえ、それぞれの役割に応じた対策の実践に取り組むとともに、これらの取組みや各相談窓口等について、様々な機会を活用して、県民や事業主等に対する周知を進める。	長期療養者就職支援担当者連絡協議会及び愛媛県地域両立支援チーム会議の開催回数	県-03
事業主は、がん患者が働きながら治療や療養できるよう、また、家族ががんになった場合でも働き続けられるよう職場環境の整備に努める。また、職場や採用選考時にがん患者・経験者が差別を受けることのないよう、十分に留意する。	治療と仕事の両立宣言企業の認定数	県-03
事業主は、それぞれの職場において、治療と仕事との両立について理解が進み、必要な支援等が得られるよう、従業員等に対して研修を実施するなど啓発に努める。	長期療養者就職支援事業を活用した就職者数*がんにについて	国-07
県及び関係機関は、事業者における就労支援及び治療と仕事との両立支援の取組みが推進されるよう、表彰制度や助成金等のインセンティブの付与等について検討を行う。	治療と仕事の両立宣言企業の認定数	県-03
がん患者を含む患者の長期的な経済負担の軽減策については、国において、治療と仕事の両立等の観点から、傷病手当金制度を見直し、支給期間を通算化するという取組みが進められており、県としては、国の対策の積極的な周知に努めるとともに、その動向を見極めながら、県レベルで実施可能な支援を検討する。	治療と仕事の両立宣言企業の認定数	県-03

中間アウトカム	指標	データソース
診断時からの情報提供	治療を始める前に就労の継続について、医療スタッフから説明を受けた割合	患
がんと診断された後の仕事の変化	がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合 退職したがん患者のうち、がん治療の開始前までに退職した者の割合	患 患
両立支援の制度利用	治療と仕事を両立するための社内制度等を利用した患者の割合	患
両立のための職場環境整備	がんの治療中に、職場や仕事上の関係者から治療と仕事両方を続けられるような勤務上の配慮があったと患患者の割合	患

分野別アウトカム	指標	データソース
経済・就労関連PROの向上	治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したがん患者の割合 金銭的負担が原因で生活に影響があったがん患者の割合	患 患
がん患者・経験者の両立支援・就労支援に関する相談・支援体制へのアクセスの向上	がん診断～治療開始前に病状や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合 家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	患 患

最終アウトカム	指標	データソース
全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	患

就労以外の社会的な問題への対応

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
県は、患者満足度調査等を通じ、可能な限り、経済面を含む患者負担の実態や支援ニーズの把握に努め、がん患者やその家族が、安心して療養生活を送ることができるよう、効果的な対策を検討するとともに、市町や医療機関の相談体制、支援制度などについてがんサポートサイトえひめ等で発信に努める。	患者体験調査に参加した拠点病院・推進病院の数	-
拠点病院等を中心に、アピアランスケアに係る相談支援・情報提供体制の構築を推進する。	拠点病院におけるアピアランスに関する相談件数	現-01
	ウィッグ・胸部補整具等の購入費を助成する市町の数	-
拠点病院等は、がん患者の診断後の自死対策について、医療従事者等が正しい知識を身につけられるよう、研修等の開催や、相談支援及び情報提供に努める。	緩和ケア研修修了者数	緩-02
	自死リスクに関する研修を実施した拠点病院の数	現-01
口腔がんの術後に生じる摂食・嚥下障がい、発音・構音障がい、外見（アピアランス）の変化等による精神的な問題等へ適切に対応し、患者の生活の質を維持向上させるため、医科歯科連携による治療体系の確立に努める。	県内のがん診療連携登録歯科医数（がん情報サービス）	が-01
国は、障がいがある等により情報取得や意思疎通に配慮が必要ながん患者の実態やニーズ、課題を明らかにし、がん検診や医療へのアクセス等の在り方について検討することとしており、県においても、その結果を踏まえ、必要な対策を検討する。	情報取得や意思疎通に配慮が必要な者に対するマニュアルを作成している拠点病院の割合	現-01
県は、がんに対する「偏見」の払拭や正しい理解につながるよう、民間団体や患者団体等と連携し、普及啓発に努める。	拠点病院で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数（総数）	現-01

中間アウトカム	指標	データソース
アピアランスケアに関する相談支援の利用	外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談ができたがん患者の割合	患
気持ちのつらさに対する支援の利用	心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合	患
	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	患
身体的なつらさに対する支援の利用	身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談ができると思う患者の割合	患
	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	患
がん患者の疎外感の解消	がんと診断されてから周囲に不必要な気を遣われている割合	患
がんに対する偏見の払拭	（家族以外の）周囲の人からがんに対する偏見を感じる割合	患

分野別アウトカム	指標	データソース
外見の変化に起因する苦痛の軽減	身体的・精神心理的な苦痛により日常生活に支障を来しているがん患者の割合	患

[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]: ライフステージに応じた療養環境への支援

小児・AYA世代のがん患者が適切な療養・教育等を受けられる環境の整備

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
県、市町及び小児がん診療病院は、関係団体と連携し、小児がん患者とその家族が、発育時期を可能な限り、慣れ親しんだ地域に留まり、他の子どもたちと同じ生活・教育環境の中で医療や支援を受けられるよう環境整備に努める。	院内学級を設置する小児がん連携病院の割合	現-01
	小児がん患者とその家族が利用できる宿泊施設を設置する小児がん連携病院の割合	現-01
県、市町等関係機関は、小児がん診療病院が実施する、緩和ケアを含む集学的治療の提供、患者とその家族に対する心理社会的な支援、適切な療養・教育環境の提供、小児がんに携わる医師等に対する研修の実施、セカンドオピニオンの体制整備、患者とその家族、医療従事者に対する相談支援等の体制整備に協力する。		
AYA世代のがん患者は、症例数は少ないが、多様ながん種があり、就学、就労、婚姻など世代ごとに固有の課題を有しており、それぞれに専門的な対応が求められることから、県は、県内の状況の把握に努めるとともに、県がん診療連携協議会等関係機関と連携し、適切な役割分担の下、本県における治療・相談支援体制の整備に取り組む。	県がん相談支援推進協議会の開催数(県はAYA世代のがん患者への治療や相談支援体制の整備について、がん相談支援推進協議会で検討している。)	相-01
	がん診療連携協議会集学的専門部会による小児・AYA世代がん患者に関するセミナー等の開催回数	連-01

中間アウトカム	指標	データソース
がん患者・家族が生殖機能への影響についての情報提供を受け、納得できる意思決定ができること	治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	患
在宅療養支援の充実	若年がん患者在宅療養支援制度の利用があった市町の数	県-03

分野別アウトカム	指標	データソース
家族への支援・サービス・場所の充実	家族の悩みや負担を相談出来る支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	患

最終アウトカム	指標	データソース
全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	患

小児・AYA世代の患者・家族のための相談支援体制の整備

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
県は、平成27年度から、NPO法人ラ・ファミリエを中心とした、関係団体、事業所等からなるコンソーシアムへの委託により実施している小児慢性特定疾病児童等自立支援事業を継続し、引き続き小児がんを含む児童等に対する、ピアカウンセリングによる相談支援、相互交流支援、就職支援等に取り組む。	ラ・ファミリエによる小児がん患者に関する相談支援の件数	相-01
	ラ・ファミリエによる小児がん患者に関する相互交流支援事業の件数	相-01
	ラ・ファミリエによる小児がん患者に関する就労支援の件数	相-01
県及び小児がん診療病院は、医療従事者と教育関係者との連携に努めるとともに、療養中に教育を必要とする患者が適切な教育を受けることのできる環境の整備、就学・復学支援等の体制整備に努める。	小児がん連携病院のがん相談支援センターにおける、小児・AYA世代のがん患者の発育及び療養上の相談への対応・支援のうち、教育に関する相談件数	現-04 *1
	国立がん研究センターによる「がん相談支援センター相談員基礎研修」(1)(2)を受講後、国立成育医療研究センターが実施する「小児がん相談員専門研修」を修了し、小児がん拠点病院等に配置されている者の数	

*1. 国において成人拠点におけるAYA世代のがん患者に係る相談件数も算出することを検討中(令和4年度では現況報告書に対応項目無し)

小児・AYA世代の患者への切れ目のないフォローアップ体制の充実

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
小児がん連携病院は、小児がん経験者が安心して暮らせるよう、患者とその家族の不安や治療による合併症、二次がんなどに対応できる長期フォローアップ体制について、「小児がん治療後の長期フォローアップガイドライン」等を活用しつつ充実を図る。	長期フォローアップ外来を開設している小児がん拠点病院等の数*2	現-04
県及び市町は、小児・AYA世代のがん患者が、療養中においても切れ目なく適切な教育を受けられるよう、教育機関等と連携の下、支援の充実に努める。		
小児・AYA世代のがんは、症例数が少なく専門的な治療が可能な医療機関が十分に認知されていないことから、地域及び環境によっては直ちに適切な医療機関等へたどり着くことが困難なことが想定されるため、がんの診断後、直ちに適切な治療等が受けられるよう、医療機関及び相談支援窓口等の連携体制の構築に取り組む。	AYA世代にあるがん患者に対する治療療養や就学、就労支援に関する相談に対応している、または、適切な機関に紹介している拠点病院の割合（現況報告書）	現-01
	拠点病院・推進病院のがん相談支援センターで、高校生の学習・学校生活に関する相談を受けた件数	相-01
小児・AYA世代のがん患者について、切れ目のない復学や就学が可能となるよう、がんの子どもを守る会等関係機関の連携の下で、必要とされる社会的・経済的な支援を検討する。	ラ・ファミリエによる小児がん患者の学習支援を行った人数	相-01
	小児がん連携病院のがん相談支援センターにおける、小児・AYA世代のがん患者に対する就労に関する相談件数	現-04 *1
	小児がん連携病院が連携している、小児がんに関する患者団体の数	現-04

*2. 小児がん拠点病院と、小児がん連携病院の類型1を分母とする想定

高齢のがん患者に対する支援の充実

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
拠点病院等は、地域の医療機関やかかりつけ医、在宅療養支援診療所、訪問看護事業所等の医療・介護を担う機関、関係団体、地方公共団体等と連携し、患者やその家族等の療養生活を支えるための体制を整備するとともに、地域における課題について検討する。	当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点病院の割合	現-01
拠点病院等は、高齢のがん患者の、人生の最終段階における療養場所等の選択に関する意思決定を支援するよう努める。	意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院の割合	現-01

[愛媛県がん対策推進計画ロジックモデル]:がん教育・がんに関する知識の普及啓発

学校教育における子どもへの健康教育の推進

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
子どもに対して適切ながん教育がなされるよう、関係機関が連携し、専門知識を持つ拠点病院や患者団体等の外部講師による支援や、教科等横断的な視点による内容の充実に努める。	愛媛県がん教育推進協議会の開催回数	県-03
がん患者及びその家族、がんの経験者、がん医療の専門家、教育委員会をはじめとする教育関係者、県、市町等が協力して、児童生徒が、がんに対する知識や予防、命の大切さに関する理解を深めるための教育活動を推進する。	がん教育モデル事業の実施回数	県-03
学校におけるがん教育の推進に当たっては、「外部講師を用いたがん教育ガイドライン」等を参照し、医療者やがん経験者などの外部講師の活用を推進する。また、小児がんの当事者や経験者がいる場合、家族にがん患者がいる場合、家族をがんで亡くした児童生徒等がいる場合、がん以外の重病・難病の患者・家族がいる場合等について、十分に配慮するほか、生活習慣が主な原因とならないがんもあるということについても適切に指導する。	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	国-08

中間アウトカム	指標	データソース
国民ががん予防や早期発見の重要性を認識し、がんを正しく理解し向き合う	周囲の人からがんに対する偏見を感じる患者の割合	患
	県内でがん教育を実施する学校数	県-03

県民に対する科学的根拠に基づく正しい知識の普及啓発及び患者・市民参画の推進

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
幅広い関係機関が連携の下、全ての県民が、がんに関する科学的根拠に基づく正しい知識、及び患者・家族に対する正しい認識を持ち、本人や家族が、がんに関与した場合にも適切に対処できるよう、様々な機会を利用し、がんに関する正しい知識の普及に取り組む。	県が開催する県民向けのがんに関するセミナーの開催回数	県-03
	拠点病院が開催する県民向けのがんに関するセミナーの開催回数	県-03
県民への普及啓発について、県や市町は、患者団体及びがん対策推進員等のボランティアとも協働し、がんに関する正しい知識の普及啓発活動を進めるとともに、民間団体によって実施されている普及啓発活動を支援する。		
行政、医療機関等の関係機関は、ホームページや各窓口等を通して積極的にがんに関する最新の情報提供に取り組む。	がんサポートサイトえひめの閲覧数	連-01
	緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている拠点病院の割合	現-01
県は、県民本位のがん対策を推進するため、愛媛県がん対策推進計画の策定過程において、性別、世代、がん種等を考慮し、多様ながん患者等の県がん対策推進委員会への参画を推進するとともに、患者・市民参画の更なる推進に向けた仕組みを検討する。	県がん対策推進委員会における患者委員の割合	-

がん患者・家族に対する正しい知識の普及

分野の個別対策	アウトプット指標	データソース
市町、検診機関、医療機関等は、検診時や診断時等において、患者及びその家族等に対して、個々のがんに関して適切な説明を行うとともに、治療・療養生活等の支援のため、がん相談支援センター等の相談窓口について情報提供を行う。	がん検診の受診者にごん相談支援センター等の相談窓口について情報提供している市町の割合 受診勧奨時に必要な情報を受診者に伝えている市町の割合	県-03 生-02
がん患者及びその家族に対して適切な情報を提供するため、がん診療連携拠点病院等の相談支援・情報提供機能を強化するとともに、県や市町は、民間団体によって実施されている相談支援・情報提供活動の支援に努める。	地域医療介護総合確保基金により、相談支援・情報提供活動（在宅がん普及啓発事業）を実施する拠点病院・団体の数	県-03
拠点病院及び推進病院等のがん相談支援センターは、治療だけでなく社会的な支援制度等についても、がん患者及びその家族に対して必要な情報を提供するよう努める。	拠点病院のがん相談支援センターの社会的支援制度等に関する相談件数	連-01